



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行  
市議団ニュース

ご相談は  
お気軽に  
市議会議員  
**福田 明**  
43-0468  
市議会議員  
**鈴木やす子**  
42-2462

# 市震災復興計画の 原案公表 意見募集も

昨年の夏から協議を重ねてきた「北茨城市震災復興計画」の原案が公表されました。その全文は、市役所ほか各サービスセンター、市立図書館、さらにインターネットで閲覧することができます。

新聞にチラシが折り込まれましたが、決められた書式にそって提出することになります。

さらに計画案についての説明会が、1月28日(大津公民館)と29日(平潟公民館、市役所)に予定されています。

復興計画に意見を述べ、新しい街づくりに参加する機会です。積極的に提案



## 市役所南側斜面

3.11で崩落した道路の復旧予定は5月。



## 防災啓発研修会

市民ふれあいセンター、1/19

出しているかがでしょう。計画策定委員会では、市民からの意見・要望を計画案に反映させて、市長に答申します。これが3月の定例議会に上程されて決定されます。

## 放射能 対策 プラザ

## 「市民の安心」 活発に稼働

本紙でも旧年中にお伝えしたとおり、北茨城市では、磯原駅の西口前に放射能対策プラザを開設

しています。連日、市民が線量計の借り出しや食材の検査に訪れていて、開設から今月18日までに、測定器貸出し件数は



大津港「バトゥ・ノエル」昨年12/23

地域的には、華川・関本地区あたりの放射線量が少し高めに検出されることとです。学校家庭の測定や、国による航空機モニタリング調査と同ような傾向です。

また敷地内でも、雨どいの下や枯れ草のあるところなどが高めで、0.3〜0.4マイクロシーベルトという値となっています。

### 食材の検査

農産物や食材についての放射能測定器(ベクレル計)の検査も、ほぼ毎日おこなわれています。

持ち込まれるものは、米、はくさい、だいこん、ほうれんそう、みずな、じゃがいも、ヤーコンなど田畑の栽培ものはもちろん、庭の木に実をつけたというユズや柿、そして干し柿なども。

### 線量計

貸し出された線量計によるデータについては、最低限「玄関先」の測定値を報告してもらい、集計されています。

市の「放射線対策プラザ」は、JR磯原駅前に開設されています。ここは、以前は「TEPCOプラザ」だったところで、つまり東京電力が所有していた建物です。

## 「放射能対策プラザ」 皮肉なめぐりあわせ

という疑問が寄せられました。原発事故が起る前に、市に寄付されたものであることを説明して少し安心してもらいましたが、「それにしても、東電のプラザが放射能プラザになってるなんて、皮肉だね」と苦笑いされました。



ベクレル計による食材検査

く(10〜17分)とることによって、精度を上げ、検出限界はおおむね20ベクレルくらいとなっています。ここでは、学校給食一食分の丸ごと検査もおこない、不検出です。

\*

じっさいに測定に訪れた市民からは「思ったより低くて、安心した」との声が多く聞かれるとのこと。目に見えない

ものだけに、やはり自分で確かめ、数値化することが、不安の解消につながっているようです。

今後、市では、放射能測定器の増設を予定しており、土壌検査などもおこなえるようにする方向です。

なお、プラザを訪れるさいは、まず電話で確かめてください。

TEL (43) 0403